

# 【参考】日本・北海道における観光産業（宿泊事業者）の課題

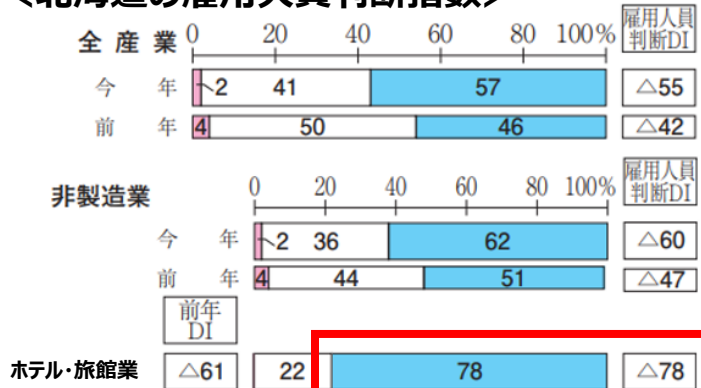
- ✓ 訪日外国人数が堅調な伸びを継続している一方で、特に宿泊業においては「人手不足」の問題が深刻化している。
- ✓ また、観光産業分野（宿泊業、飲食サービス業）の労働生産性は他業種より低く、同産業の成長を阻害する要因となっている。

## ＜全国の雇用人員判断指数＞

	全規模合計				
	2017年				2018年
	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	-25	-25	-28	-31	-34
非製造業	-31	-30	-34	-36	-38
宿泊・飲食サービス業	-56	-57	-61	-62	-64

(出典)全国企業短期経済観測調査（日本銀行（2018））

## ＜北海道の雇用人員判断指数＞



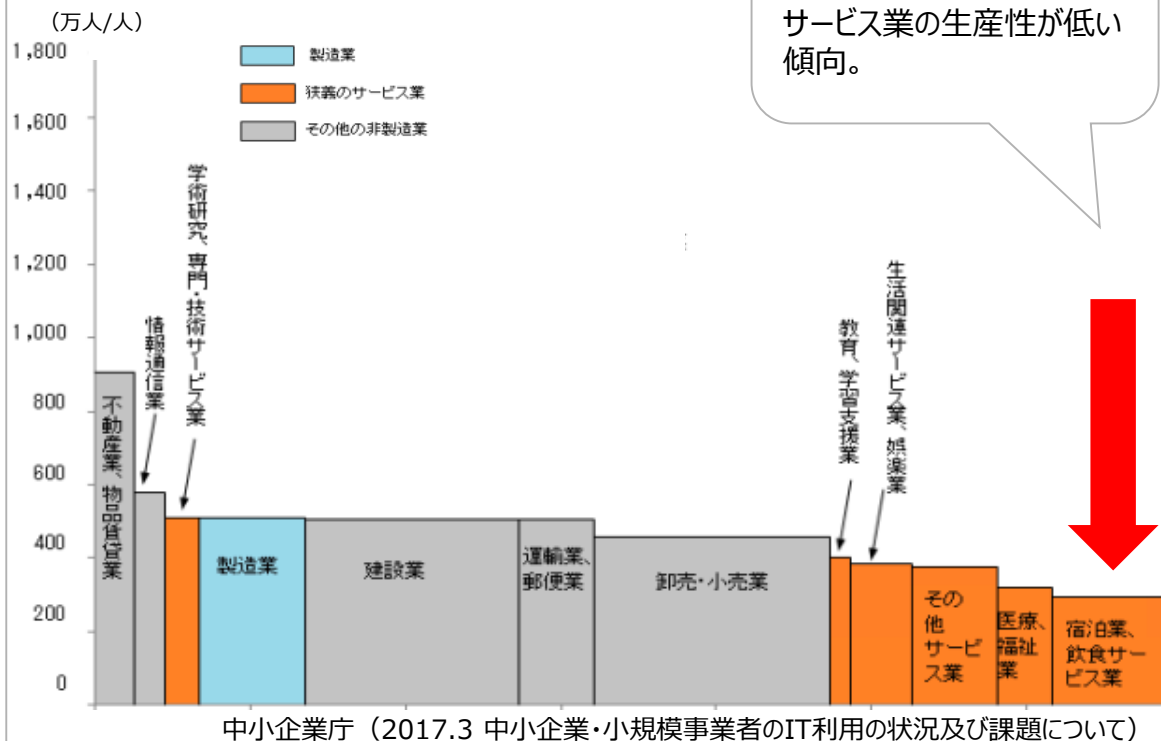
(出典)ほくよう調査レポート（北洋銀行（2018））

### ※雇用人員判断指数

雇用人員が「過剰」と回答した企業の割合から「不足」を引いた値  
数値が低いほどその業種が人手不足であることを表す

## ＜業種別労働生産性の水準＞

労働生産性（縦軸）と従業員構成比（横軸）

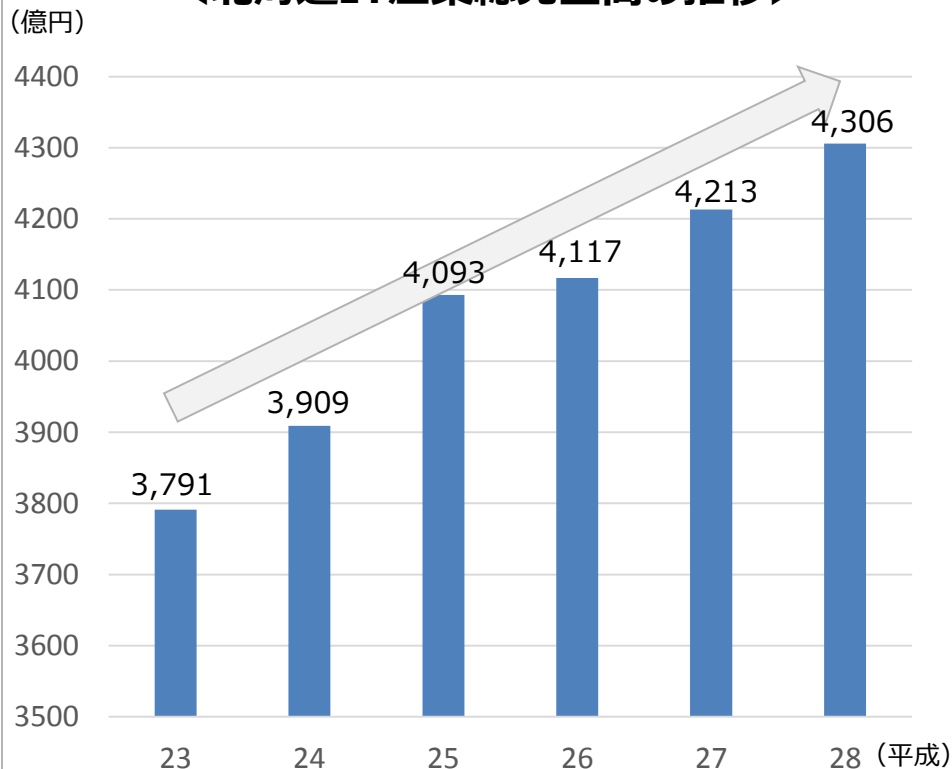


宿泊業の人手不足は、他業種と比べてもその問題の深刻さが顕著

## 【参考】北海道のIT産業と観光分野（宿泊業）のIT活用

- ✓ 北海道には1000社を超えるIT企業が集積しており、売上総額4300億円を超える地域の経済を支える産業へ成長。AI・ビッグデータ解析に取り組む中小企業・ベンチャーが多く存在。
- ✓ 北海道は「観光」、「IT」の双方に強みを持つエリアであり、これら産業が連携することで、AI・ビッグデータの活用による宿泊事業者の生産性向上が期待されるが、宿泊事業者のIT投資は遅れている。

### ＜北海道IT産業総売上高の推移＞



(出展) 北海道ITレポート2107  
(一般社団法人北海道IT推進協 (2018) )

### ＜中小企業におけるIT投資の遅れ（業種別）＞

中小企業では、6割弱の会社がITを使っているが、収益に直結する、調達、販売、受発注管理などでは、ITを使っている企業のうちでも3分の1程度にとどまっている。

単位 (%)	一般オフィスシステム (ワード、エクセル等)	電子メール	給与、経理業務の パッケージソフト	調達、生産、販売、 会計などの基幹業務 統合ソフト (ERP等)	電子文書 (注文・請求書)での商 取引や受発注情報 管理 (EDI)	グループウェア (スケジュール・業務情報 共有やコミュニケーション)
全体	55.9	54.1	40.3	21.5	18.5	12.2
製造業	58.6	61.8	44.1	23.9	23.1	12.3
飲食業	35.7	34.8	33.2	11.6	9.1	8.5
飲食以外の小売業	46.1	44.1	30.1	22.8	18.0	9.6
卸売業	58.1	58.9	39.6	29.9	27.1	13.3
建設業	58.0	60.6	35.8	16.7	17.0	8.0
運輸業	51.2	42.3	41.8	20.4	15.7	9.6
医療法人として行う医療業	45.1	32.7	40.7	14.2	9.7	4.4
上記以外の医療業	52.6	31.6	31.6	31.6	21.1	15.8
社会福祉法人として行う福祉業	67.7	46.2	55.9	29.0	11.8	10.8
上記以外の福祉業	62.7	47.1	39.2	21.6	15.7	16.7
宿泊業	59.7	60.2	47.7	27.8	12.5	6.3
その他サービス業	65.8	63.0	42.3	19.9	18.5	21.7

(出展) 中小企業・小規模事業者の経営課題に関するアンケート調査  
(全国中小企業取引振興協会 (2016) )